

令和2年7月豪雨災害 支援活動報告と募金のお願い

「令和2年7月豪雨」で被災された皆さま並びにご家族の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。グリーンコープでは各県のグリーンコープ生協を通じて支援活動に取り組んでいます。引き続きのご協力お願いいたします。

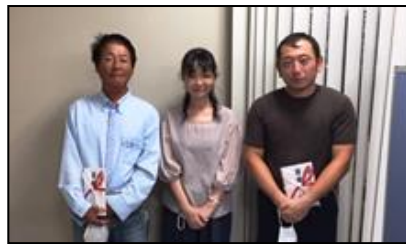
災害支援の様子

大分県

先週は、大分県内のお取引メーカーである「山忠」さんから、支援活動に使っていただきたいと「国産ひじき白和えの素」をいただきました。早速被災者の皆様やNPO法人の食材用にお届けし、喜ばれています。また、気温がぐっと低くなり、衣類が流されてそろっていないご家庭では冬物衣料が新たに必要になっています。ゆうあい衣料などの活用を含めて、支援を検討しています。

被災されたお取引先への災害見舞金お届けの様子

9月22日（火）、台風9号と10号で被害を受けられた産直青果生産者の「多久愛菜会」と「糸島取 BM 農法研究会」へ、見舞金（目録）のお届けに、三原理事長（写真中央）と JA 糸島営農総合センターを訪問しました。応接は、多久愛菜会：村上さん（写真左）、糸島 BM 農法研究会：平野代表（写真右）、JA 糸島：鬼木さんにしていただき、被害状況とその後についてお話をうかがいました。私たちが出来ることとして、組合員みんなで産直青果生産者が作った農産物の「利用」を通して応援しましょう！！



福岡県

このたびの災害では、台風10号よりも9号に被害が大きく、ビニールハウス13棟のうち、3棟がほぼ全壊し、作付けしていた「きゅうり」はほぼ全滅したそうです。他に、「ほうれんそう」にも被害が出たとのことでした。ビニールハウスには共済はかけてないそうです。共済は新価保障でなく、加入しても全て保障がでないためかけていないとのことでした。したがって、自前で再建することになり、改めて、農業の大変さを痛感しました。このたびの被害に負けずに、今後も産直青果の生産に頑張りたいと思います。＜多久愛菜会：村上さん＞

今回の台風9号により被害を受けた生産者は、ビニールハウス6棟のうち2棟がほぼ全壊し、作付けしていた小ネギも全滅したそうです。ご本人は相当落ち込んであるとのことでした。私たち（グリーンコープ）がお届けした見舞金だけで再建することは厳しいと思いますが、グリーンコープとの産直関係を継続できるように頑張りたいと思います。＜糸島 BM 農法研究会：平野代表＞

令和2年7月豪雨災害支援募金

申込番号	012	10200円
	013	10500円

●OCR申込書の通常申込欄へ口数を記入してください。2桁の数量を申し込む場合、特別申込欄に、申込番号「013」、数量欄に「10」と申し込まれると500円×10口=5000円として受付けます。

●組合員のみなさまからの救援金(カンパ)は、グリーンコープが責任を持って取りまとめ、各支援団体とともに被災地域の救援活動や取引先の復旧支援などに役立ってます。

グリーンコープの災害支援活動の案内ページが新しくなり、「令和2年7月豪雨」のページを設けています。こちらをご覧ください。



熊本県の災害支援の様子

生活応援セット！	<p>球磨村の仮設団地 2カ所に生活応援セットの配布を行ないました。球磨村多目的広場仮設団地は先月初めから既に入居されている 33 世帯の団地です。朝 10 時から一件ずつ訪問し、生活応援セットの配布をしました。前日に球磨村役場より案内チラシを配って頂いたので、配布もスムーズにきました。土曜日の朝ということもあり在宅率も多く、33 世帯中 29 世帯の方にお渡しすることが出来ました。団地の皆様からは、「避難所の時から、ありがとう」や、「衣装ケースまで頂けるの？嬉しい」と大変嬉しそうに感謝のお言葉を頂くことができました。配布出来なかった 4 軒のお宅については団地の集会所に置かせていただき、役場の担当者より後日配布していただきます。球磨村さくらドーム仮設団地は明日の日曜日より入居が始まるので、前日にあたる本日土曜日に各部屋内に納品させていただきました。明日の入居式の際、役場の担当者より入居者に案内していただくようお願いしました。</p>	
感激！	<p>以前に家財の搬出を行ない、先週球磨村にある建設型仮設住宅に入られた方から、グリーンコープからの生活応援セットに対する御礼のお電話がありました。「こんなに沢山の生活用品をいただきありがとうございました。特にあの手書きのメッセージに書いてあった、子どもさんが書かれたと思われる『くまもとだいすき』のメッセージに心をうたれ涙があふれました。グリーンコープさんって知りませんでした、とてもすごいですね」とのことでした。その方から、その感動されたメッセージを送っていただきました。ご覧ください。</p>	
炊き出し！	<p>球磨村神瀬地区で住民主催の炊き出しのお手伝いを行ないました。本日のメニューはバーベキューでした。本日は天気に恵まれたこともありたくさんの方が集まりました。理事長がパエリアを作り大好評でパエリアはすぐに完食でした。神瀬地区の方が「被災後初めてみんなで、こんな大勢で集まりました」と嬉しそうに言われていた言葉が印象的でした。13 時 30 分からの住民を一堂に介した神瀬再生委員会では冒頭にグリーンコープ全員で挨拶をさせていただきました。また再生委員会の中で球磨村の村外避難所である旧多良木高校から来られた方は「グリーンコープさんが避難所に持って来てくれるヨーグルトが大変助かっています」とスピーチされました。</p>	
おさがり会！	<p>人吉市下永野町にある永野公民館で服、くつ、バッグ、おもちゃなど、赤ちゃんから大人まで参加出来る「おさがり会」が開催されました。おさがり会は県南地域本部の馬淵地域理事長、人吉球磨地区の委員長、副委員長、ワーカーズアーチ、手とテとてさん、にじのおとさんで運営されました。GCからはGCおかやまからいただいた桃ジャムかき氷を出して子ども達はとても喜んでくれました。また今回は挽きたてコーヒーをだして、飲んでいただきながら、来ていただいた方同士の交流や被災した家の状況などをお聞きしました。</p>	
炊き出し！	<p>芦北郡芦北町白石地区で住民主催の炊き出しのお手伝いを行ないました。本日のメニューは牛丼、きのこの味噌汁、きゅうりの浅漬け、ピーマンと昆布の和え物、デザートに手とテとての御園さんの手作りのバナナケーキとりんごのヨーグルト和えでした。今回のメニューの牛丼は白石地区の川口自治会長が考案されました。あるお母さんからは、避難生活が長くなり、まだまだやらなければならないこともあり、料理をする気になかなかない、みそ汁もこの 3ヶ月間はお湯を入れるだけのものしか食べていない。朝はパンだけ、昨日の昼は豆腐のみだった。しかし久しぶりに手づくりのみそ汁を食べるとやはり美味しい、今度頑張ってみようかなあ？とのことでした。</p>	

※募金の金額は、7月6日～9月26日迄の12週間累計で「84,447,200円」となりました。